

ブランデュー弘前FCについて

ブランデュー弘前FCの由来

津軽地方は、かつて弘前藩の領地でした。地域の発展のための建築材や食料の調達など、この地域の発展には白神山地の恵みは必要不可欠でした。また、現代においても、世界自然遺産という形でその存在と必要性は津軽にとどまらず世界に認められています。そこで、津軽から世界へ羽ばたこうとするクラブとして、この白神のように市民一人ひとりの大切なクラブに成りたいとの想いを込めて、**白神**という意味を持たせた造語「**ブランデュー**」を命名しました。

「blanc (ブラン)」はフランス語で「白」、「dieu (デュー)」は「神」を意味します。一般的に、津軽弁がフランス語の発音に近いと言われていることもあり、フランス語を用いました。

▼ ロゴタイプ

Blancdieu
HIROSAKI FC

Blanc (ブラン) + dieu (デュー)
フランス語で「白」の意味 + フランス語で「神」の意味

白 神



エンブレムに込められた意味

エンブレムデザインは、弘前が世界に誇る「桜」と、弘前市の市章である「**卍 (まんじ)**」、また青森の特産品である「**りんご**」と、津軽の人であれば誰もが愛する「**岩木山**」のモチーフを組み合わせたデザインになっており、弘前のアイデンティティを表現しております。

また3つの「桜」は、「サポーター」、「弘前市」、「当クラブ」を表現しており、三位一体で前へ突き進んで行こう! という想いを込めています。

ロゴタイプのデザインは、クラブ名の由来が「白神」であることから、「自然の壮さ」、「自然の荒々しさ」などの、「圧倒的な力強さ」を表現しております。

クラブの想い

ブランデュー弘前FCはクラブ理念である「**夢を伝え 夢を届け 夢となる**」のもとこの地域の憧れや目標の存在となりたいという思いで活動しております。

そして発足当時から地域密着型のチームを掲げており、スポーツを通して特に子ども達の夢と可能性を引き出すこと（**ひとつづくり**）、スポーツを通して弘前、津軽という地域文化に活力を与えていくこと（**まちづくり**）を目的として活動しております。

このユニフォームデザインコンペもこのひとつづくり、まちづくりの一環として行っております。青森県弘前市はファッション甲子園の開催地となっており、弘前のチームだからこそできる取り組みだと思っております。高校生のみなさんには、それぞれのアイデアや感性を大いに発揮していただき、ユニフォームのデザインで選手を後押ししていただければと思います。

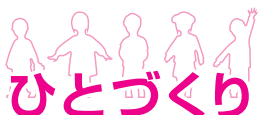
地元の高校生がデザインしたユニフォームでブランデュー弘前FCの選手が試合で活躍する。ブランデュー弘前FCは選手・地域・そして高校生が一体となってJリーグへ向けて突き進んでいきたいと思っております。

ブランデューの目指すもの

可能性

希望

夢



ひとつづくり

+



まちづくり

津軽

文化

地域